

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本 英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2015年2月15日日曜日 23:24
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年2月15日発行
添付ファイル: 第14回(2014)「地域・産業・大学」公開研究発表会案内チラシ.pdf

////////////////////////////////////
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年2月8日発行 /
/ //////////////////////////////////////
中部産業遺産研究会にご興味のある方に、このメールを是非転送して下さい。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【CONTENTS】

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回のご案内
- 【3】 愛知大学のガラ紡のテレビでの放映／天野武弘【New】
- 【4】 愛知大学中部地方産業研究所 第14回 公開研究発表会のご案内／天野武弘【New】
- 【5】 大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第15回／杉本漢三【New】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【5月の総会の日程が以前にご案内していた日から変わりましたのでご注意ください】

- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回 2015/02/22(日) 13:00～ トヨタ産業技術記念館
- 第133回研究会 2015/03/22(日) 13:00～ 大同大学 本館14階 交流室
(交通：名鉄河和線・常滑線 大同町駅下車 徒歩5分)
- 第23回総会・第134回研究会 2015/05/17(日) 13:00～ 名城大学 名駅サテライト大会議室
- 第135回例会 2015/07/26(日) 13:00～ 開催予定
- 第136回例会・見学会 2015/09/27(日) 13:00～ 開催予定
- パネル展講演会・第137回例会 2015/11/29(日)または12/06(日) 13:00～ 名古屋都市センター開催予定

会場は名古屋都市センターを除き予定です。名城大学名駅サテライトにお願いする予定ですが、大同大学や豊田くらし発見館などに変更する場合があります。

【2】 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回のご案内

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回
博物館における動態保存のあり方
2015年2月22日開催

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

参加お申し込みとリーフレットのダウンロードはホームページからできます。
ぜひ、皆様のご参加をお願いいたします。

参加費はできれば事前にシンポジウムホームページに記載の口座へ振り込んでください。
振り込む時間がない方は、当日受付でお支払い頂くこともできます。

【シンポジウム当日のトヨタ産業技術記念館の見学】

午前中 10:00~12:00 でシンポジウムの講師でもある成田副館長がガイドツアーを行う予定です。
一般入場者と同じように各自で申し込んでご参加ください。(開館は、9時30分です)
定員は、一般と合計で20名です(入場料は各自で負担してください)
詳細はトヨタ産業技術記念館ホームページをご参照下さい。
<http://www.tcmiit.org/usageguide/guidetour.html>

シンポジウムの「講演報告資料集」のみの販売もいたします。
印刷部数が限られています。ご希望の方は下記へ申し込んでください。
申込先：yamada3a1415926535@ca2.so-net.ne.jp 実行委員会事務局 山田まで電子メールにて
必要冊数、受け取り方法(3月定例研究会か郵送)を連絡してください。
頒布費用は実費(500円)+送料(郵送希望者のみ)となります。
詳細は、申込者宛にご案内します。

【3】愛知大学のガラ紡のテレビでの放映／天野武弘【New】

2月17日(火曜日)、NHK総合(名古屋放送局)で18:10~19:00に放送される
『ほっとイブニング』の中で、愛知大学のガラ紡が放映されます。

放送時間は4分30秒前後とのことです。たぶん18時半前後ではと思います。

内容は、三河地方で栄えたガラ紡工場が今ではわずかに残るのみ、しかもそれぞれが高齢を
迎え病と戦いながら、助け合って“郷土の糸”を守っているガラ紡工場の人達の日常を紹介、
といった予定とのことです。

主には、岡崎の石田ガラ紡工場を中心に進めるようですが、愛知大学の映像は、冒頭でガラ紡
とはどういうものかを説明するために流すそうです。愛知大学には13日に取材がありました。

ご案内まで。

【4】愛知大学中部地方産業研究所 第14回 公開研究発表会のご案内／天野武弘【New】

添付案内チラシのように
2月21日(土)に愛知大学豊橋校舎で研究発表会があります。

ここで「新発見の手回しガラ紡績機」を発表します。
これまで知られている博物館明治村と大阪綿業開館の綿業倶楽部に所蔵される手回し機に
続いた新発見で、文化財級と位置づけました。
ご案内です。

愛知大学中部地方産業研究所ホームページ
<http://www.chusanken.jp/>

【5】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第15回／杉本漢三【New】

虚 数

2乗して負の-1になる不思議な数を虚数という。16世紀のイタリアの数学者ジェロラモ・カルダーノ(1501~1576年)によって発見されたが、 $i \times i = -1$ となる虚数*i*は、長い間、数学者の間でもリアルな存在として受け入れなかった。

我々が現実社会で使うのは「実数」であり、正、負に関係なく、2乗すると正の実数となる。「虚数」と「実数」を複合した「複素数」によって16世紀には、解を持たないとされていた方程式にも解が与えられるようになった。

ここから発展して、ドイツの数学者カール・フリードリヒ・ガウス(1777~1855年)によって「どんな*n*次方程式も複素数の範囲に解を持つ」という「代数学の基本定理」が証明されたのである。

参考記事；朝日新聞、2013.8.4「数と科学のストーリー」



愛知大学中部地方産業研究所

2015.2.21 日 13:30~

愛知大学 豊橋校舎 本館 5階
第3・4会議室

参加無料
〈申込不要〉

お気軽に会場まで
お越しください

Program

研究発表プログラム 司会進行/打田 委千弘 (経済学部教授・運営委員)

13:25- 開会挨拶 —— 樋口 義治 (文学部教授・所長)

01 13:30-14:00	樋野 芳雄 (国際コミュニケーション学部教授・所員)	自然エネルギーの安定的利用のための 仕組みづくりに関する研究
-------------------	-------------------------------	-----------------------------------

02 14:00-14:30	天野 武弘 (研究員)	新発見の手回しガラ紡績機 — 現存同型機種との比較 —
-------------------	----------------	--------------------------------

03 14:30-15:00	星野 靖雄 (会計大学院教授・所員)	企業財務の地域特性について
-------------------	-----------------------	---------------

04 15:15-15:45	黍嶋 久好 (研究員)	三遠南信地域の観光 — 地域の特性を活かした地域ツーリズムの形成の考察 —
-------------------	----------------	--

05 15:45-16:15	渋谷 典子 (研究員)	「協働」における公務との均等待遇と評価 — NPO「活動者」を手がかりに —
-------------------	----------------	---

17:00- 交流会 —— [会費:500円] 当日お申込みください

公開研究発表会 「地域・産業・大学」



愛知大学 中部地方産業研究所
TEL 0532-47-4140 FAX 0532-47-4187
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1
豊橋鉄道渥美線 新豊橋駅より6分
「愛知大学前」駅下車

Access

